

(2) 第2学年「A話すこと・聞くこと」の年間指導計画（20時間）

時 期		言語活動例	単元(時数)・〔重点指導事項〕	学習のねらい＜言語意識＞
一 学 期	4 月	○ 発表やスピーチを行うこと	○ 「自分を伝える」(4) ● 新しい出会いを大切に して、わかりやすく自己 紹介を行う。 〔発想や認識・考えや意図〕	○ 自分を見つめ、自分に 関わる適切な話題を基に効果 的に自己PRを行う。 ＜目的意識・方法意識＞
	6 月	○ 説明や発表 を行うこと	○ 「正確に伝える」(3) ● 話の中心部分と付加的な 部分に注意して、聞き取 ったり説明や発表を行っ たりする。 〔構成や論理・語句や文〕	○ 調べたことや考えたこと を相手に応じて的確に話す。 ○ 話し手の意図や伝えたい 情報を聞き分け、正確に聞 き取る。 ＜相手意識・場面意識＞
二 学 期	9 月	○ 説明や発表 を行うこと	○ 「思いを伝える」(3) ● 論理的な構成や展開を考 えて説明や発表を行う。 〔構成や論理・語句や文〕	○ 学校や地域の紹介など、 身近な題材を基に、相手や 場面に応じて効果的な展開 や構成を考え、説明や発表 を行う。 ＜相手意識・場面意識＞
	11 月	○ 対話を行う こと	○ 「言語生活を振り返る」 (7) ● 話の内容や意図に応じた 適切な語句を選択し、対 話を行う。 〔語句や文・話題〕	○ 対話を支える力を確認し、 よりよい対話を行うために 適切な語句を用いて話した り聞いたりする。 ○ 適切な言語生活を行おう とする。 ＜方法意識・相手意識＞
三 学 期	2 月	○ 討論を行う こと	○ 「地域の環境問題を考える」 (3) ● 相手の立場や考えを尊重 し、話し合いが目的に沿 って効果的に展開するよ うに話したり聞いたり する。 〔話題・話し合い〕	○ 話し手の意図を的確に聞 き取るとともに、展開に沿 って適切に話す。 ○ 自分の考えを持って話し 合いに臨み、話し合った内 容を基に自分の考えを修正 したり深めたりする。 ＜相手意識・評価意識＞